

# JAMA/JAPIA統一データシート改正内容のまとめ (Ver.2.04)

- ・ 本資料は、JAMA/JAPIA統一データシートのバージョンアップ(Ver.2.04)による変更点をまとめたものです。 [08年11月1日リリース予定]
- ・ 最新版のJAMA/JAPIA統一データシートは、08年11月以降、JAPIAホームページ (<http://www.japia.or.jp/>) より入手できます。
- ・ JAMA/JAPIA統一データシートは、今後もバージョンアップされる可能性があります。

2008年11月 1日  
(社)日本自動車部品工業会  
環境負荷物質WG

## < Ver.2.04による改訂内容一覧表 >

2/22

ファイル	改訂項目	改訂内容	詳細説明
入力 帳票	1. CSVファイル への出力機能	データ入力に使用した外部リストのファイル名を履歴 管理情報として自動的に出力できるようにしました。	<a href="#">7ページ</a>
	2. XMLファイル への出力機能		<a href="#">8ページ</a>
	3. XMLファイル 出力時に入力 する機能	IMDSによるデータ送信時に入力が必要であるサプラ イヤー情報と送信先情報を、XMLファイル出力時に入 力できるようにしました。	<a href="#">9ページ</a>
	4. 材料規格・ アプリケーション の組合せを チェックする機能	電子部品用材料において、入力ルール変更(ELV指令 ANNEX への該当有無を区別する)に伴い、材料規 格(JAMAA2222、JAMAA4444)とアプリケーション の組合せをチェックする機能を追加しました。	<a href="#">10ページ</a>
	5. パスワード	入力帳票を開く際に入力するパスワードを変更しま した。(パスワードは調査元に確認して下さい。)	なし
	6. 表紙	・ バージョン、日付を更新しました。 ・ 改正の説明を追記しました。	<a href="#">11ページ</a>

(次ページに続く)

ファイル	改訂項目	改訂内容	詳細説明
入力 帳票	7. 入力帳票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の運用状況を確認し、不要と判断された入力項目を削除しました。</li> <li>  JAMA含有目的コード(項目番号:21)</li> <li>  JAMA含有目的名称(項目番号:22)</li> <li>  物質名称(項目番号:23)</li> <li>  化合物含有量(項目番号:27)</li> <li>  備考(Module ID IMDS管理) (項目番号:35)</li> <li>  備考(項目番号:36)</li> <li>  備考(項目番号:37)</li> <li>  備考(項目番号:38)</li> </ul>	<a href="#">12-13 ページ</a>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルマーク(項目番号:33)の「必須」の記述を見直しました。</li> </ul>	<a href="#">14ページ</a>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・Node ID [部品](IMDS管理) (項目番号:45)の「定義」の記述を見直しました。</li> </ul>	<a href="#">15ページ</a>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・Node ID [材料](IMDS管理) (項目番号:46)の「定義」の記述を見直しました。</li> </ul>	

(次ページに続く)

ファイル	改訂項目	改訂内容	詳細説明
. 入力 帳票	8 . 入力要領	・ 化合物含有率(項目番号:26)の「入力上の注意事項 / 解説」の記述を見直しました。	<a href="#">16ページ</a>
		・ リサイクルマーク(項目番号:33)の「入力上の注意事項 / 解説」の記述を見直しました。	<a href="#">17ページ</a>
		・ Node ID [部品](IMDS管理) (項目番号:45)の「入力上の注意事項 / 解説」の記述を見直しました。	<a href="#">18ページ</a>
		・ Node ID [材料](IMDS管理) (項目番号:46)の「入力上の注意事項 / 解説」の記述を見直しました。	
		・ IMDSフィールド名称(XMLファイル属性名称)を追加しました。	<a href="#">19ページ</a>

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

ファイル	改訂項目	改訂内容	詳細説明
. 外部 リスト	9 . 材料リスト (MAT)	・メッキの材料コードを以下理由により変更(素地材質の記号を削除)しました。 [理由] データ入力 of 簡易化、IMDS公開データとの整合化	なし(*)
		・電子部品用材料の入力ルール変更に伴い、材料リストの登録内容を一部変更しました。	なし(*)
		・JIS規格の改訂内容を反映しました。	なし(*)
		・追加登録申請された材料を反映しました。	なし(*)
		・JIS規格にて規定されている材料について、材料Node IDに、IMDS IDを反映しました。	<a href="#">20-21 ページ</a>

\*: 詳細については「材料リスト補足説明資料」を御参照下さい。

(前ページからの続き)

ファイル	改訂項目	改訂内容	詳細説明
.外部 リスト	10. 化合物リスト (IMDS_SUB)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IMDS BSLの変更内容(追加・修正・削除)を反映しました。</li> <li>・ これに伴い、化合物名称(日本語)を見直しました。</li> <li>・ GADSL改訂を反映しました。</li> </ul>	なし
	11. 化合物の GADSL分類 (IMDS_CATEGORY)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ GADSL改訂に合わせて修正しました。</li> </ul>	なし
	12. アプリケー ション関連の リスト (IMDS_APP, IMDS_SUB_APP)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アプリケーションの改訂に合わせて修正しました。</li> </ul>	なし

# . 入力帳票の改訂内容

## 1. CSVファイルへの出力機能

データ入力に使用した外部リストのファイル名を履歴管理情報として自動的に出力できるようにしました。

CSVファイルの1行目にエラーチェックで使用した外部リストのファイル名が出力されます。  
(外部リストを参照せずにCSVファイルを出力した場合は、「Not Found」が出力されます。)

### < 出力様式 >

“C”,“Ver.2.04”,“2008/11/30”,“正常終了”“,”,“,“,“外部リストファイル名”

### < CSV出力ファイルのイメージ >

```
"C","Ver.2.04","2008/11/30","正常終了","","","EXLIST-2008-11-01JP.xls"  
"H","1234","0001","2005/12/05","2005/11/30"  
"D","1","1234568980","ASSY","100","S123-23","","1","","",... (省略)  
"D","2","1234568980","ASSY","","S123-23","","2","1111111111","Part1","70","1","","... (省略)  
"D","3","1234568980","ASSY","","S123-23","","2","1111111111","Part1","","1","","... (省略)  
"D","4","1234568980","ASSY","","S123-23","","2","1111111111","Part1","","1","","... (省略)
```

## 2 . XMLファイルへの出力機能

データ入力に使用した外部リストのファイル名を履歴管理情報として自動的に出力できるようにしました。

XMLファイルの4行目に以下の形式で外部リストのファイル名が出力されます。

(外部リストを参照せずにXMLファイルを出力した場合は、「Not Found」が出力されます。)

### < 出力様式 >

<!-- EXLIST:ファイル名 -->

### < XML出力ファイルのイメージ >

```
1 : <?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?>
2 : <!DOCTYPE Task SYSTEM "../data/upload.dtd">
3 : <!-- Ver.2.03 2007/11/20 Error -->
4 : <!-- EXLIST:EXLIST200801JP.xls -->
<Task>
```



### 3. XMLファイル出力時に入力する機能

IMDSによるデータ送信時に入力が必要であるサプライヤー情報と送信先情報を、XMLファイル出力時に入力できるようにしました。

XMLファイルの出力ボタン(従来と同一)をクリックするとXML情報入力画面が開きます。  
項目を入力し、OKを押すとエラーチェックとファイルの出力が開始されます。

XML情報入力

サブライヤー情報

組織ID(CompanyOrgID) 123456789

コンタクトパーソンID(ContactID) 1234

送信先情報

送信先企業ID(RecipCompanyID) 123456789

ステータス

編集モード  送信

OK キャンセル

<ステータス「編集モード」、「送信」の違いについて>

ステータス「送信」を選択した場合は、右図の通り、確認メッセージが表示されます。  
「送信」の場合は、アップロード時にそのまま送信先企業に送信されます。

アップロード後にIMDSの画面でデータの内容を確認する場合は、「キャンセル」ボタンで前の画面に戻り、「編集モード」を選択します。

ステータス「送信」に関する注意点

！！！！データの内容および送信先企業IDが正しいことをよく確認してください！！！！

出力されたXMLファイルをIMDSにアップロードした場合、画面で確認することなく、そのまま送信先企業まで送信されます。

アップロード後にIMDSの画面でデータの内容を確認したい場合は、「キャンセル」ボタンで前の画面に戻り、「編集モード」を選択してください。

このままステータス「送信」でXMLファイルを出力する場合は「OK」ボタンを押してください。

なお、出力したXMLファイルをIMDSにアップロードしない限りは、送信は行われません。

OK キャンセル

## 4. 材料規格・アプリケーションの組合せをチェックする機能

電子部品用材料において、ELV指令ANNEX への該当有無を明示する目的で、以下の通り、選択基準を明確化したことに伴い、材料規格・アプリケーションの組合せをチェックする機能を追加しました。

### <ルール変更内容>

対象材料		入力ルール	
		現行	変更後
電子部品用材料	ELV指令ANNEX に該当する場合	「JAMAA2222」、 「JAMAA4444」の 区別なし	「JAMAA2222」を選択
	上記以外		「JAMAA4444」を選択
電子部品用材料以外			

### <材料規格・アプリケーションの組合せのチェックについて>

材料規格・アプリケーションの組合せが、上記ルールに適合していない場合、エラーチェックにより、下記のいずれかのエラーメッセージが表示されます。

メッセージ1: 「この材料規格はELV4物質が含まれている場合のみ指定可能です。」  
(材料規格に「JAMAA2222」が入力されている場合)

メッセージ2: 「材料規格・アプリケーションの組み合わせが正しくありません。」  
(材料規格に「JAMAA4444」が入力されている場合)

#### 【注意】

旧バージョンにて作成したデータで、上記ルールに適合していない場合は、材料規格、VDA材料分類コードを修正する必要があります。旧バージョンで作成したデータは、必ず、依頼元への送信する前に点検をして下さい。

## JAMA統一データシート

Ver.2.04  
2008年11月1日

< 変更点 >  
バージョン、日付を更新  
しました。

JAMA統一データシートの改正を、下記の通り実施します。

< 2008年11月1日 >

入力者の利便性向上、一部の材料の入力ルール変更への対応のために、以下の機能を追加した小改正版(Ver.2.04)を  
発効しました。また本小改正版では、従来の運用状況を確認し、不要と判断された入力項目を削除しました。

2008年10月1日以降、Ver.2.04を基本に調査を実施することになります。

[追加機能]

- ・データ入力に使用した外部リストのファイル名を履歴管理情報として、CSVファイル、XMLファイルに出力する機能
  - ・IMDSによるデータ送信時に入力が必要であるサプライヤー情報と送信先情報を、XMLファイル出力時に入力する機能
  - ・材料規格-アプリケーションコードの組合せチェック機能(公的規格で規定されていない材料のみ)
- なお、Ver.2.04と旧バージョン(Ver.2.03、Ver.2.02、Ver.2.01、Ver.2.00)の互換性は下記のとおりです。
- ・CSVファイルは、旧バージョンで作成したファイルでも読み込みできますが、エラーが発生する場合があります。
  - ・外部リストは、互換性がないので、Ver.2.04(EXLIST-2008-10-01JP.xls)を利用して下さい。

< 変更点 >  
改正内容を追記  
しました。

< 2007年7月1日 >

入力者の利便性向上を目的に、JISに規定されている金属材料を対象に、化合物のデータを材料マスタ(材料 - 化合物)として整備、  
構成材料の[選択]を利用することにより、読み込まれるよう小改正版(Ver.2.02)を発効しました。

- ・材料マスタのデータは、標準的なデータです。実際の部品・材料のデータと異なる場合、修正する必要があります。
- ・JISに規定されている全ての金属材料について、材料マスタが整備されているわけではありません。

(中略)

JAMA統一データシートの改正(Ver.2.00)について

2006年4月1日  
(社)日本自動車工業会  
(社)日本自動車部品工業会

## 1. 改正の背景

JAMA統一データシートは、既に関係自動車メーカー及び部品メーカーにて使用されている。現在、(社)日本自動車  
工業会(以下JAMAと記す。)会員の大半の自動車メーカーがIMDSを使用していること、及び特に(社)日本自動車部品  
工業会(以下JAPIAと記す。)会員の多くの部品メーカーにおいては、IMDS入力用の基データとして本データシートが使用  
されている状況を考慮すると、IMDSデータ様式とJAMAデータシート様式の間で整合が図れていることが入力負荷等の  
観点から望ましい。そこで、その整合化推進を主目的に、調査項目及びデータシート様式を見直すこととした。  
また、この改正にあわせサプライヤー間のデータ収集は、原則としてJAMA統一データシートもしくはIMDSを利用して  
収集する方法で統一化を図ることとした。

(注)IMDS: International Material Data System

## 2. 改正の内容要旨(改正版は、Ver.2.00 とする。)

(以下、省略)

(次ページに続く)

(1) 入力項目の削除

**<変更点>**  
 以下の項目を削除しました。  
 注) Excelでは非表示になっています。

21:JAMA含有目的コード  
 22:JAMA含有目的名称  
 23:物質名称

27:化合物含有量

項目番号	1	18	19	20	24	25	26	28	29	30
項目名称	運搬	材料記号 (樹脂・ゴム)	VDA材料分類 コード	含有率 整理番号	化合物コード 選択	化合物名称	化合物 含有率	再生材使用率 (工程内リサイクル材) 最小値	再生材使用率 (工程内リサイクル材) 最大値	再生材使用率 (市場回収材) 最小値
定義	・データに転写する際の 通称	・「樹脂・ゴム」の場合、ISO1043、 ISO1692に定める材料記号	・VDA(ドイツ自動車工 業会)の定めた材料分 類コード	・材料中に含 有する測定対 象化合物の 通称	・化合物のCAS Code	・化合物の名称	・「15」材料質 量に対する化 合物の含有率 [%]	・工程内リサイク ル材(再生材)が使用さ れている材料につい て、その使用率の最 小値	・工程内リサイク ル材(再生材)が使用さ れている材料につい て、その使用率の最 大値	・市場回収材(材 料)が使用され ている材料につい て、その使用率の最 大値
記入者	調査先	調査先	調査先	調査先	調査先	調査先	調査先	調査先	調査先	調査先
必須	必須	必須 (樹脂・ゴムの材料を入力する場 合)	必須 (材料を入力する場合)		必須 (化合物を入力する場 合)	必須 (化合物を入力する場合)	必須 (化合物を入力 する場合)	必須 (VDA材料分類コード が1,2,3,4,5 の材料の最上行 のみに入力)	必須 (VDA材料分類コード が1,2,3,4,5 の材料の最上行 のみに入力)	必須 (VDA材料分類 が1,2,3,4,5 の材料の最 大値のみに入力)
データ型	半角数字	半角英数字	半角英数字	半角数字	半角英数字	半角英数字	半角数字	半角数字	半角数字	半角数字
桁数(整数)	5	20	6	3	30	300	3	3	3	3
桁数(小数)	0	0	0	0	0	0	6	4	4	4

(次ページに続く)

Microsoft Excel - jamasheet\_jp20081101.xls

質問を入力してください

**<変更点>**  
以下の項目を削除しました。  
注) Excelでは非表示になっています。

35:備考(Module ID IMDS管理)  
36:備考  
37:備考  
38:備考

(2) 構成材料・化学物質調査

項目番号	1	32	33	34	39	40	41	42	43	44	45	46	47
項目名	運番	材質表示	リサイクル ル マーク	アプリ ケーション 選択	構成部品 質量単位 選択	構成部品 数量単位 選択	調査元 材料記号 もしくは 支線材コ ード	北合調査 有率 [最小値]	北合調査 有率 [最大値]	北合調査 有率 [平均]	Node_ID [部品] [IMDS管 理]	Node_ID [材料] [IMDS管 理]	Node_ID [北合部 [IMDS管 理]
定義	データに付与する種類の島の 番号	商品に「材質マーク」を表 示していることを示すコード	商品に「リサイ クルマーク」を表 示していることを 示すコード	IMDSで定めら れている有害物 質を使用してい る場合の使用目 的コード	構成部品質量の単 位	構成部品数の 単位	調査元が国・村 社様等にて持 示している材料記号	化合物含有率 の最小値	化合物含有率 の最大値	化合物含有率 の平均	IMDSが管理し ている商品の 「Node ID」	IMDSが管理し ている材料の 「Node ID」	IMDSが管 理している化合 物「Node ID」
記入者	調査先	調査先	調査先	調査先	調査先	調査先	調査元または調査先	調査先	調査先	調査先	調査先	調査先	調査先
必須	必須	必須 [MDA材料分派コードが S1.a, S1.b, かつ材料質量の 合計が100g以上、もしくは MDA材料分派がS3かつ材料 質量の合計が200g以上の材 料を含む構成商品の最上行 のみに入力]	必須 [MDA材料分派 コードがS1.a, S1.b, S3の材料 を含む構成商品の最上行の みに入力]	必須 [有害物質の場合]	任意 [省略の場合al]	任意 [省略の場合 wch]	任意	26が入力できない場合、必須 [化合物を入力する場合]			任意	任意	任意
データ型	半角数字	{Y}{N}{NA}のいづれか	{Y}{N}{NA}の いづれか	半角英数字	半角英字	半角英数字	半角英数字	半角数字	半角数字	I(半角)	半角英数字	半角英数字	半角英数
桁数(位数)	5	3	3	10	2	3	20	10	10	1	20	20	20
桁数(小数)	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0

**[注意]**  
入力項目の削除により、Excel自体の表示は旧バージョンと異なりますが、CSVファイルの出力内容には変更はありませんので、新旧データシート同士や、入力事例集との間ではコピー・ペーストが可能です。但し、一部、互換性がない場合もありますので、御注意下さい。

## (2) リサイクルマーク(項目番号:33)

Microsoft Excel - jamasheet\_jp20081101.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(B)

F29

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (2) 構成材料・化学物質調査 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

項目番号 1 30 31 32 33 34 39 40 41 42 43

項目番号	1	30	31	32	33	34	39	40	41	42	43
項目名	運搬	リサイクル		リサイクル	リサイク ル マ ー ク	アプ リ ケ ー シ ョ	構成部品 質量単位	構成部品 数量単位	調査元 材料記号 もしくは 支給材コー ド	北合割合 有率 【最小値】	北合割合 有率 【最大値】
定義	・データに付与する廃物の場の 番号	・市場回収材(再生 材)が使用されて いる材料につい て、その使用率 の最小値	・市場回収材(再生 材)が使用されて いる材料につい て、その使用率 の最大値	・商品に「材 質マーク」を 表示している ことを示すコ ード	・商品に「リサイ クルマーク」を 表示している ことを示すコ ード	・LMDsで定めら れている有害物 質を使用してい る場合の使用目 的コード	・構成部品質量の単 位	・構成部品数の 単位	・調査元が調査・村 社仕様書等にて 採集している材 料記号	・化合物含有率 の最小値	・化合物含有率 の最大値
記入者	調査先	調査先	調査先	調査先	調査先	調査先	調査先	調査先	調査元または調査先	調査先	調査先
必須	必須	必須 (NO4材料分 類コードが 1x, 2x, 3x, 4x, 5xの材料の最 上行のみに 入力)	必須 (NO4材料分 類コードが 1x, 2x, 3x, 4x, 5xの材料の最 上行のみに 入力)	必須 (NO4材料分 類コードが 5.1x, 5.1b, 5.2かつ材料 質量の合計が 100g以上の NO4材料分 類が5.3かつ材 料質量の合計 が20g以上の 材料を含む 構成品の最 上行のみに 入力)	必須 (NO4材料分 類コードが 5.1x, 5.1b, 5.1b, 5.2の 材料を含む 構成品の最 上行のみに 入力)	必須 (例外物質の 場合)	任意 (省略の場合)	任意 (省略の場合 あり)	任意	26が入力できない場合、必須 (化合物を入力する場合)	
データ型	半角英数字	半角数字	半角数字	{Y}「N」「NA」の いづれか	{Y}「N」「NA」の いづれか	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角数字	半角数字
桁数(整数)	5	3	3	3	3	10	2	3	20	10	10
桁数(小数)	0	4	4	0	0	0	0	0	0	6	6

表紙 入力帳票 入力要領 MESSAGE

図形の調整(R) オートシェイプ(U)

コマンド

JAMA/JAPIA統一データシート改正内容のまとめ (Ver.2.04)

<変更点>  
「必須」の記述を見直しました。

(3) Node ID [部品](IMDS管理) (項目番号:45)

(4) Node ID [材料](IMDS管理) (項目番号:46)

Microsoft Excel - jamasheet\_jp20081101.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(B)

F29

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

項目名 入力データのチェック

項目名: カンポ-カンコード  
 テータイプ: 半角英数字  
 配入者: 調査元

(2) 構成材料-化学物質調査

項目番号	1	40	41	42	43	44	45	46	47	48	
実行手		卸工会オプション								構成材料	
実行味	項目名	運番	構成部品 数量単位 選択	調査元 材料記号 支給料コード	北合調査 有率 [最小値]	北合調査 有率 [最大値]	北合調査 有率 [深部]	Node_ID [部品] [IMDS管 理]	Node_ID [材料] [IMDS管 理]	Node_ID [北合務] [IMDS管 理]	社内材料コード
定義		・データに付与する構成の身の 運番	・構成部品数の 単位	・調査元が四圍・材 料仕様書にて持 示している材料記号	・化合物含有率 の最小値	・化合物含有率 の最大値	・化合物含有率 の深部	・IMDSが管理し ている部品の 「Node ID」	・IMDSが管理し ている材料の 「Node ID」	・IMDSが管理し ている化合物の 「Node ID」	・材料の構成番号
配入者		調査元	調査元	調査元または調査先	調査元	調査元	調査元	調査元	調査元	調査元	調査元
必須		必須	任意 (省略の場合 wach)	任意	26が入力できない場合、必須 (化合物を入力する場合)		任意	任意	任意	任意	任意
タイプ		半角数字	半角英数字	半角英数字	半角数字	半角数字	1(半角)	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
桁数(整数)		5	3	20	10	10	1	20	20	20	50
桁数(小数)		0	0	0	6	6	0	0	0	0	0

<変更点>  
「定義」の記述を見直しました。

表紙\入力帳票\入力要領\MESSAGE/

図形の調整(R) オートシェイプ(U)

コマンド

# 7. 入力要領

## (1) 化合物含有率(項目番号:26)

**<変更点>**  
**「入力上の注意事項 / 解説」の記述を見直しました。**

項目番号	項目名称	IMDSフィールド名称 (XMLファイル属性名称)	定義	入力上の注意事項 / 解説	記入者	データ提供方式
<b>(1) 基本情報調査</b>						
4	カーメーカーコード	なし	OEMコード、Tier1コード等、調査元の指定するコード	調査元(OEM等)にて入力する。(データ回収時の選別コード)	調査元または調査先 (調査元があらかじめ入力する場合と、リストのみ提供され、調査先に転記する場合がある)	調査元指定
5	仕入先コード	なし	調査先のコード	仕入先コードは調査元(OEM等)で指定し入力する。	調査元入力	調査元指定
6	仕入先名	なし	調査先の名称	仕入先名は調査元(OEM等)で指定し入力する。	調査元入力	調査元指定
7	回答期限	なし	調査回答期限	調査元(OEM等)が指定する回答期日で、調査元が記入する。	調査元入力	調査元指定
8	回答日	なし	調査回答日	調査先で入力。回答日を記入する。	調査先入力	入力
<b>(2) 構成材料・化学物質調査</b>						
13	化合物含有率	含有率 ("Substance"要素 "FixValue"属性)	「15」材料質量に対する化合物の含有率	「15」材料質量に対する化合物の含有率[%]を記入する。	調査先入力	入力 (エラーチェック時に自動設定)
28	再生材使用率 (工程内リサイクル材) 最小値	工程内リサイクル材の割合(最小値) ("Recyclate"要素 "PostIndMin"属性)	工程内リサイクル材(再生材)が使用されている材料について、その使用率の最小値 [%]	VDA材料分類コードが1*, 2*, 3*, 4*, 5*の材料について、工程内リサイクル材(再生材)が使用されている材料について、その使用率[%]の最小値を構成材料毎に記入する。	調査先入力	入力
29	再生材使用率 (工程内リサイクル材) 最大値	工程内リサイクル材の割合(最大値) ("Recyclate"要素)	工程内リサイクル材(再生材)が使用されている材料について、その使用率の最大値 [%]	VDA材料分類コードが1*, 2*, 3*, 4*, 5*の材料について、工程内リサイクル材(再生材)が使用されている材料について、その使用率[%]の最大値を構成材料毎に記入する。	調査先入力	入力



## (2) リサイクルマーク(項目番号:33)

Microsoft Excel - jamasheet\_jp20081101.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウェブ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(E) 質問を入力してください

Q14 表紙

1 入力マニュアル

2

3 (1)基本情報調査

項目名称	IMDSフィールド名称 (XMLファイル属性名称)	定義	記入上の注意事項/解説	記入者 ・調査元(OEM, Tier1等 調査依頼をかける方) ・調査先(調査依頼を受 けて回答する方)	データ提供方式 ・調査元指定 ・入力 ・選択入力 ・自動入力
カーメーカーコード	なし	OEMコード、Tier1コード等、調 査元の指定するコード	・調査元(OEM等)にて入力する。(データ回収時の選別コード)	調査元または調査先 (調査元があらかじめ入 力する場合と、リストのみ 提供され、調査先にて転 記する場合がある)	調査元指定
仕入先コード	なし	調査先のコード	・仕入先コードは調査元(OEM等)で指定し入力する。	調査元入力	調査元指定
仕入先名	なし	調査先の名称	・仕入先名は調査元(OEM等)で指定し入力する。	調査元入力	調査元指定
回答期限	なし	調査回答期限	・調査元(OEM等)が指定する回答期日で、調査元が記入す る。	調査元入力	調査元指定
回答日	なし	調査回答日	調査先で入力。回答日を記入する。	調査先入力	入力

10

11

12 (2)構成材料・化学物質調査

カ ラ ム No	項目名称	IMDSフィールド名称 (XMLファイル属性名称)	定義	記入上の注意事項/解説	入力者 ・調査元(調査元、Tier1 等調査依頼をかける方) ・調査先(調査依頼を受 けて回答する方) ・任意	データ提供方式 ・調査元指定 ・入力 ・選択入力 ・選択時一括入力 ・任意
33	リサイクルマーク	なし	・部品に「リサイクルマーク」を 表示していることを示すコード	IMDA材料分類コードが5.1.a, 5.1.b, 5.3の材料について、 部品にリサイクルマークを表示している場合に「Y」を記入す る。表示していない場合は「N」を記入する。外観等の理由で表 示できない場合は「N/A」を記入する。	調査先入力	入力
34	アプリケーション	アプリケーション ("Application"要素 "ApplCode"属性)	・IMDSで定められている有害 物質を使用している場合の使 用目的コード	・IMDSで定められている有害物質を使用している場合は、そ の化学物質の使用目的コードを記入する。	調査先入力	選択入力
39	構成部品 質量単位	単位 ("Component"要素 "Unit"属性)	・構成部品質量の単位	・構成部品質量の単位を変更する場合に入力する。(mg又は kg) 通常は(入力しない場合)、「g(グラム)」となる。	調査先入力	選択入力
40	構成部品	なし	・構成部品数の単位	・構成部品数の単位を変更する場合に入力する。(m, m2, m	調査先入力	選択入力

13

46

47

48

49

50

51

52

表紙 入力帳票 入力要領 MESSAGE

図形の調整(R) オートシェイプ(U)

コマンド

### <変更点>

「入力上の注意事項 / 解説」の記述を見直しました。

- (3) Node ID [部品](IMDS管理) (項目番号:45)
- (4) Node ID [材料](IMDS管理) (項目番号:46)

Microsoft Excel - jamasheet\_jp20081101.xls

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O)

Q14

1 入力マニュアル

2

3 (1)基本情報調査

項目名称	IMDSフィールド名称 (XMLファイル属性名称)	定義	記入上の注意事項/解説	記入者 ・調査元(OEM, Tier1等 調査依頼をかける方) ・調査先(調査依頼を受 けて回答する方)	データ提供方式 ・調査元指定 ・入力 ・選択入力 ・自動入力
カーメーカーコード	なし	OEMコード、Tier1コード等、調査元の指定するコード	・調査元(OEM等)にて入力する。(データ回収時の選別コード)	調査元または調査先 (調査元があらかじめ入力する場合と、リストのみ提供され、調査先にて転記する場合がある)	調査元指定
仕入先コード	なし	調査先のコード	・仕入先コードは調査元(OEM等)で指定し入力する。	調査元入力	調査元指定
仕入先名	なし	調査先の名称	・仕入先名は調査元(OEM等)で指定し入力する。	調査元入力	調査元指定
回答期限	なし	調査回答期限	・調査元(OEM等)が指定する回答期日で、調査元が記入する。	調査元入力	調査元指定
回答日	なし	調査回答日	調査元で入力。回答日を記入する。	調査先入力	入力

10

11

12 (2)構成材料・化学物質調査

項目名称	IMDSフィールド名称 (XMLファイル属性名称)	定義	入力上の注意事項/解説	入力者 ・調査元(調査元, Tier1 等調査依頼をかける方) ・調査先(調査依頼を受 けて回答する方) ・任意	データ提供方式 ・調査元指定 ・入力 ・選択入力 ・選択時一括入力 ・任意
45 Node ID [部品] (IMDS管理)	Node ID ("RefComponent"要素 "IMDS_ID"属性)	・IMDSが管理している部品の「Node ID」	・IMDSに登録した際に割り当てられる「Node ID」を入力する。	調査先入力	・入力
58 46 Node ID [材料] (IMDS管理)	Node ID ("RefMaterial"要素 "IMDS_ID"属性)	・IMDSが管理している材料の「Node ID」	・IMDSに登録した際に割り当てられる「Node ID」を入力する。	調査先入力	・入力
59 47 Node ID [化合物]	Node ID ("Substance"要素)	・IMDSが管理している化合物の「Node ID」	・IMDSに登録した際に割り当てられる「Node ID」を入力する。	調査先入力	・選択時一括入力 (カラム24、25、47)

14 \表紙\入力帳票\入力要領\MESSAGE\

図形の調整(R) オートシェイプ(U)

コマンド

**<変更点>**  
**「定義」、「入力上の注意事項 / 解説」の記述を見直しました。**

### (5) IMDSフィールド名称(XMLファイル属性名称)の追加

Microsoft Excel - jamasheet\_jp20081101.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O)

Q58

**<変更点>**  
**IMDSとJAMAシートの項目の関係を対比して見られるように、「項目名称」と「定義」の間に、「IMDSフィールド名称」欄を追加しました。**

項目名称	IMDSフィールド名称 (XMLファイル属性名称)	定義	記入上の注意事項/解説	記入者	データ提供方式
<b>(1)基本情報調査</b>					
カーメーカーコード	なし	OEMコード、Tier1コード等、調査元の指定するコード	・調査元(OEM等)にて入力する。(データ回収時の選別コード)	調査元または調査先 (調査元があらかじめ入力する場合と、リストのみ提供され、調査先にて転記する場合がある)	調査元指定
仕入先コード	なし	調査先のコード	・仕入先コードは調査元(OEM等)で指定し入力する。	調査元入力	調査元指定
仕入先名	なし	調査先の名称	・仕入先名は調査元(OEM等)で指定し入力する。	調査元入力	調査元指定
回答期限	なし	調査回答期限	・調査元(OEM等)が指定する回答期日で、調査元が記入する。	調査元入力	調査元指定
回答日	なし	調査回答日	調査先で入力。回答日を記入する。	調査先入力	入力
<b>(2)構成材料・化学物質調査</b>					
連番	なし	・データに付与する識別の為の連番	・データに付与する識別の為の連番であり、シート単位でデータの先頭行から「1」以降の連番を付与する。  【注】データ解析後に、連番でソートしデータ作成時の状態を復元できることを想定し連番を付与する。	入力者 ・調査元(調査元、Tier1等調査依頼をかける方) ・調査先(調査依頼を受けて回答する方) ・任意	データ提供方式 ・調査元指定 ・入力 ・選択入力 ・選択時一括入力 ・任意
納入部品番号	部品番号 ("Component"要素 "ArtNr"属性 および "Chap4"要素 "RecipPartNo"属性)	・調査先が調査元に納入する部品の番号	・調査先が、調査元に納入する部品の番号で、調査先(仕入先等)での修正は原則不可とする。  【注1】データ解析時(1行1データ)に、調査対象が属する納入部品番号を特定する為に使用する。  【注2】調査先(仕入先)で修正が必要な場合は、予め調査元	調査元又は調査先入力 (調査元が指定)	入力 (エラーチェック時に自動設定)

コマンド

# . 外部リストの改訂内容

## - IMDS Node IDの反映について -

材料マスタの一部は、IMDS公開材料データとして登録されたことにより、NodeID[材料]に「IMDS Node ID」(8桁の数字)を付与しました。IMDS Node IDが付与された材料は、JAMA/JAPIA統一データシートとIMDSとの間で系統的に互換性をもつことができ、同一の材料データIMDSに繰り返しアップロードする場合、ID使用数増加を削減することができます。

材料の選択

検索条件を入力して検索ボタンを押して下さい。

表面処理識別  材料コード(金属・その他)

材料名称(英語)  材料記号(樹脂・ゴム)

材料名称(日本語)  VDA材料分類コード

材料規格

OKボタンを押すと材料情報が入力されます。  
すでに材料情報が入力されている場合にはデータが上書きされますので注意下さい。

58件の材料が見つかりました。

表面処理識別	材料名称(英語)	材料名称(日本語)	材料規格	材料コード(金属・その他)	材料記号(樹脂・ゴム)	VDA材料分類コード	NodeID[材料]
Stainless Steel	SUS304TKA	ステンレス鋼鋼管	JISG3446	SUS304TKA		1.1.2	90614790
Stainless Steel	SUS304TKC	ステンレス鋼鋼管	JISG3446	SUS304TKC		1.1.2	90614790
Stainless Steel	SUS304TPD	一般配管用ステンレス鋼管	JISG3448	SUS304TPD		1.1.2	73950066
Stainless Steel	SUS304TP	配管用ステンレス鋼管	JISG3459	SUS304TP		1.1.2	90614797
Stainless Steel	SUS304HTP	配管用ステンレス鋼管	JISG3459	SUS304HTP		1.1.2	74819659
Stainless Steel	SUS304LTP	配管用ステンレス鋼管	JISG3459	SUS304LTP		1.1.2	74518999
Stainless Steel	SUS304	ステンレス鋼棒	JISG4303	SUS304		1.1.2	73950066
Stainless Steel	SUS304L	ステンレス鋼棒	JISG4303	SUS304L		1.1.2	74819746
Stainless Steel	SUS304N1	ステンレス鋼棒	JISG4303	SUS304N1		1.1.2	73796080
Stainless Steel	SUS304N2	ステンレス鋼棒	JISG4303	SUS304N2		1.1.2	73796370
Stainless Steel	SUS304LN	ステンレス鋼棒	JISG4303	SUS304LN		1.1.2	74819748
Stainless Steel	SUS304J3	ステンレス鋼棒	JISG4303	SUS304J3		1.1.2	73893155
Stainless Steel	SUS304	熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯	JISG4304	SUS304		1.1.2	73950066
Stainless Steel	SUS304Cu	熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯	JISG4304	SUS304Cu		1.1.2	73449807

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

**【注意】**

旧バージョンで作成したデータをエラーチェックした際、以下のように、警告表示が出る場合があります。

< 警告表示 >

[mes113:警告] 含有率の範囲値の差が許容値を越えてはなりません。

この場合は、NodeID[材料]を「仮ID」から「IMDS Node ID」に修正することを推奨します。警告表示を回避することができます。

< 手順 >

材料検索画面を開き、キーワードを入力し、所定の材料を表示する。

材料検索画面にて、NodeID[材料]に表示されている「IMDS Node ID」を確認する。

材料検索画面を閉じる

入力帳票のNodeID[材料]欄に入力されたデータを、「IMDS Node ID」に修正する。

## (補足説明) Ver.2.03との互換性について

### (1) 外部リスト

#### 互換性なし。

必ずVer.2.04の外部リストを利用して下さい。

旧バージョンの外部リスト(Ver.2.00、Ver.2.01、Ver.2.02、Ver.2.03)は、エラーチェックや選択入力が正しく動作しないため利用することができません。

### (2) CSVファイル

#### 互換性あり。

旧バージョン(Ver.2.00、Ver.2.01、Ver.2.02、Ver.2.03)にて作成したCSVファイルでも取り込みできます。

ただし、入力内容によっては、外部リストの見直しに伴い、エラーが発生する可能性があります。データを修正して下さい。